

国立大学法人 奈良女子大学

記念館 一般公開

旧奈良女子
高等師範
学校本館
《重要文化財》

耐震改修工事記念〈パネル展示〉

平成28年4月29日(金・祝)
～5月5日(木・祝)

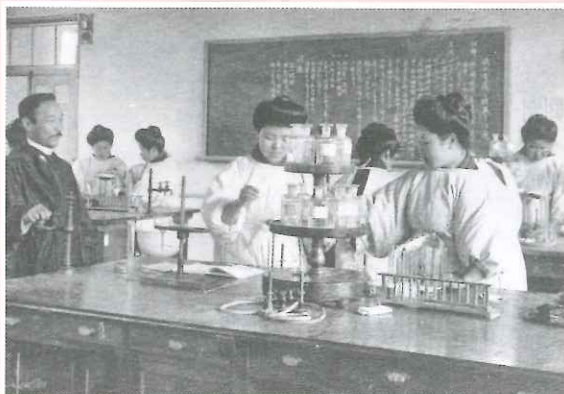
午前9時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

特別
展示

記念館と
女子高等
師範学校

〈パネル展示〉



入場
無料

交通

近鉄奈良駅①出口から徒歩約5分
JR奈良駅から市内循環バス

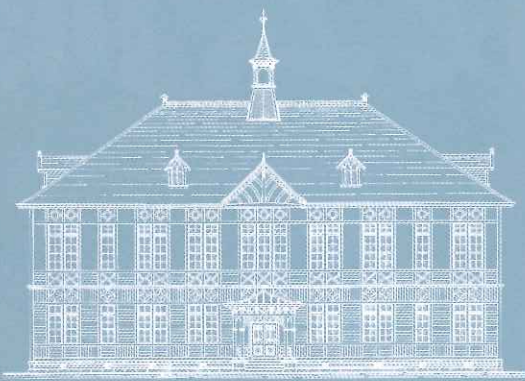
近鉄奈良駅前下車徒歩約5分
※車での来場はご遠慮願います。

連絡先

国立女子大学 総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220
FAX.0742-20-3205



奈良女子大学 記念館について



奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は1908(明治41)年3月に設置され、翌年5月から授業を開始しました。校舎の工事は1908(明治41)年2月から始まり、翌年10月には主要な建物が完成しました。現在、奈良女子大学記念館としている建物は、奈良女子高等師範学校本館としてこのとき建設されたものです。

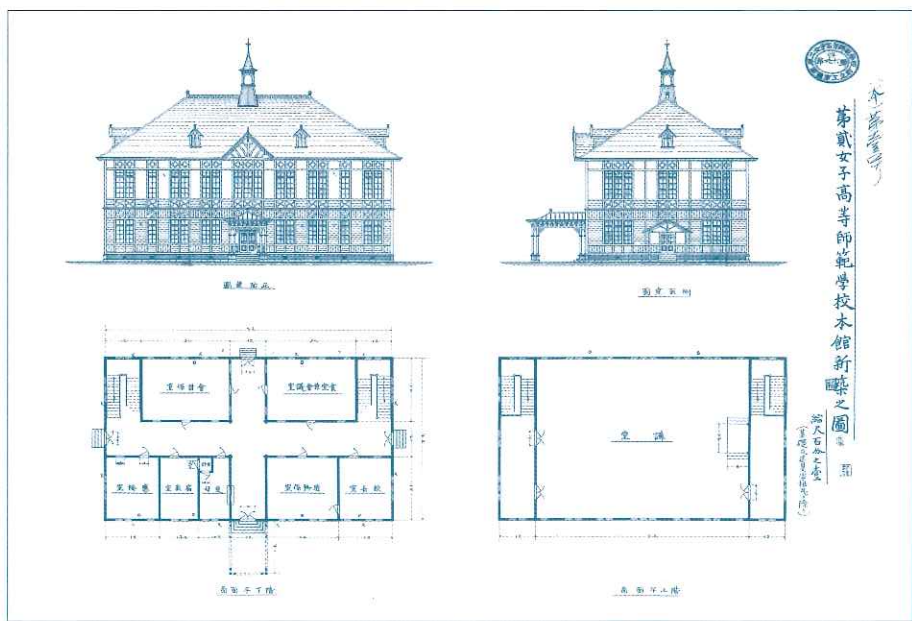
設計は京都帝国大学建築部長で奈良出張所心得の山本治兵衛が行いました。

木造二階建てで、外観の大きな特徴は、北歐によく見られる木部を外に表す壁構造のハーフティンバー形式をとっており、屋根には頂塔およびドーマー窓が設置されていることにあります。1階は中央に廊下が配され、これを挟む形で7室が設置されています。建物両端にある階段で2階に上ると、フロア全体が大きな講堂となっています。講堂内には柱は用いられず、中央部に二重に織り上げた天井には明かり取りの窓が配され、広々とした空間が広がります。

1994(平成6)年2月から6月にかけて改修工事が行われ、同年12月27日に正門および守衛室と併せて重要文化財に指定されました。その後も空調設備工事・外壁改修など、その時々適切な修理を行い、2014(平成26)年12月25日から2015(平成27)年12月にかけては、これまでにない長い時間をかけて大規模な耐震補強工事を実施しました。この工事に際しては、文化庁・奈良県の指導を受けて、歴史的建造物の文化的価値を損なうことのないよう、細心の注意を払い設計、施工がなされました。

旧本館は建設以来、改変された箇所はほとんどありません。現在も2階講堂内部には奈良女子高等師範学校開校当時から使用されていた長椅子がそのままに並び、開校時に購入した最も古い国産ピアノのひとつであるとされる「百年ピアノ」が置かれ、往事を偲ぶことができます。

特別展示 記念館と 女子高等 師範学校



奈良女子高等師範学校は、女子への教育機運の高まりに応えるため、国内で二校目の女子の中等教育を担う教員を養成する機関として、1908(明治41)年3月に設置されました。爾来、学制の変更にともない1949(昭和24)年に奈良女子大学となるまでに、3,072名の卒業生を輩出しました。

今季の特別展示では、奈良女子高等師範学校本館として開校時から存在する記念館と奈良女子高等師範学校について、記念館改修工事の模様とともにパネル展示で紹介します。

奈良女子高等師範学校の開校から奈良女子大学になるまでの歩み、記念館の変遷についてご覧いただけましたら幸いです。

奈良女子大学記念館 館長 井上 容子